

子どもたちが輝き、地域とともに学びを創造する オンリー1があふれる学びのプラットフォーム 杉一小

ビジョン2

災害に強く、防災の要となり、持続可能な自然環境に配慮した施設とする。

目標5

自然災害に備えた堅牢で安全な場を確保し、防災拠点としての機能が十分に発揮される施設とする。

取組

- ・子どもたちと地域の防災教育と意識向上に活かせる施設とする。
- ・発災時に迅速かつ安全に避難できる施設とする。
- ・防災井戸やマンホールトイレを備える等、震災救援所として必要な整備をする。
- ・浸水被害を抑え、防災拠点として、地域との連携が速やかに行える施設とする。
- ・校内に必要な備蓄品を確保する。

目標6

自然に配慮し、周辺地域と調和した、環境にやさしい施設と設備とする。

取組

- ・ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)化やエコスクール等に対応し、環境教育にも配慮した施設とする。
- ・景観と調和し、花と緑を楽しめる空間を整備する。
- ・自然環境との調和に配慮し、武蔵野の屋敷林の面影が残る、自然教育に適した場を創出する。
- ・周辺地域の住環境に配慮した施設とする。

ビジョン1

豊かな教育環境を目指し、子どもたち一人ひとりが輝ける、安全で安心な学び舎をつくる。

目標1

子どもたちが自ら考え判断する力を伸ばし、進んで学び、充実して過ごすことができる学習環境を整備する。

取組

- ・全ての子どもたちが学び合い、可能性を引き出す個別最適、協働的な学びとなる多様な学びのスタイルに適應できる施設とする。
- ・学校図書館や理科室等の特別教室を、子どもたちの好奇心を刺激する造りにする。
- ・ICT教育環境の充実と、円滑な授業運営に対応できる基盤を整備する。

目標2

自他を尊重し、あたたかく人間性豊かで、多様な体験を子どもたちに提供できる教育環境を整備する。

取組

- ・学年を超えた交流ができ、地域の力を活かした杉一小らしい、学びと憩いの空間を設ける。
- ・光、風、緑を感じ、木の温かみが実感できる造りとする。
- ・多文化共生とユニバーサルデザインに配慮した施設とする。
- ・命の尊さを伝え、自然観察にも繋がる動植物と触れ合える場を拡充する。
- ・歴史と伝統に相応しい、杉一小の顔となる場を設ける。

目標3

子どもたちが明るく活発に、のびのびと心と体の健康づくりに主体的に取り組めるような活動の場を整備する。

取組

- ・防塵機能を備えた、広く良好な環境の校庭整備を行うなど、子どもたちののびのびと運動し、羽を伸ばせる空間を設ける。
- ・ジュニアバンド等の活発な音楽活動や資機材の運用にも耐えうる、防音に対応した十分なスペースを設ける。
- ・思い切り体を動かして利用できる遊具を充実させる。
- ・更衣室やロッカー等、子どもたちの自立につながる空間や環境を整備する。

目標4

安全に配慮し、高いセキュリティを備え、子どもたちや教職員が安心して快適に過ごせる環境を整備する。

取組

- ・子どもたちを守る防犯カメラ等の安全設備を設け、充実したセキュリティを備える。
- ・諸室の配置や造り、収納スペースの充実、教職員の働きやすさも考慮する。
- ・冷水機や簡易に腰掛けられる場所等を要所に設けるとともに、リラックスできる環境を整備する。
- ・緑豊かで安心して通れる歩行者空間を整備する。

ビジョン3

世代を超えて多様な区民が出会い、自発的で協働的な関係が広がる学びを創造できる場にする。

目標7

地域と共に歩んできた伝統と特色を継承し、子どもを真ん中に地域とのかかわりを広げ、次代を創る学びに柔軟に対応できる、持続可能な造りとする。

取組

- ・学校を支える地域の関わりと、活動支援の促進を図るため、関係諸室を充実させる。
- ・地域が子どもたちと共に歩き支えるすぎっ子くらぶや放課後の居場所となる場を整備する。
- ・児童数や教育カリキュラム等、将来の変化に対応できる柔軟性を確保する。
- ・文学と文化が息づく阿佐谷のまちと調和した学び舎とする。

目標8

多様な施設・設備を活用し、賑わいのあるまちと共生し、多世代が学び合える施設とする。

取組

- ・子どもたちの学びと区民の多様な学びが共存できるよう、子どもたちの活動に支障をきたさない諸室配置と動線確保を行う。
- ・駅に近い利便性を活かして、多様な利用者を想定し、区民の学びや交流の場としても活用できる施設計画とする。
- ・阿佐谷ジャストリート等、イベントで利用できる、地域に開かれた施設とする。

概要版

杉並区立杉並第一小学校改築基本計画



改築基本方針検討のプロセス

改築基本方針(裏面)を策定するに当たっては、学校関係者、地域関係者等で構成する懇談会を立ち上げ検討を行いました。検討に当たっては、あさがやまちづくりセッション(テーマ：杉一小)や、子ども達や教職員へのアンケートを行い、寄せられた意見等を参考としました。

杉並区立杉並第一小学校改築検討懇談会

団体名等	氏名	団体名等	氏名	団体名等	氏名	団体名等	氏名
首都大学東京 名誉教授	深尾 精一	学校支援本部	伴野 博美	阿佐谷地区区会 連合会	田中 昭一	PTA	長谷川 篤男
早稲田大学 創造理工学部 建築学科 教授	高口 洋人	学校運営協議会	村上 徹也	震災救援所	近藤 浩	PTA	遠藤 美穂子
阿佐谷北一丁目区会	宇都野 正朔	学校運営協議会	岡田 円治	進文会	細田 宗宏	校長	山口 祐美子
阿佐谷北二丁目区会	佐藤 文夫	学校運営協議会	竹越 不可止	児童クラブ保護者	松嶋 彰	副校長	杉田 英昭
阿佐谷北三丁目区会	徳田 紀美子	学校運営協議会	松尾 純一	PTA	武田 孝彦	副校長	小島 昭博



開催	内容	日程等
1	小学校の特色・概要、改築に至る経緯の説明	4月19日
2	事例見学(桃井第二小学校、杉並第二小学校)	5月28日 6月3日
3	基本方針(たたき台)の検討	6月26日
4	基本方針(最終案)検討と改築規模等の説明	8月5日

あさがやまちづくりセッション(テーマ：杉一小)

令和6年6月9日開催 参加者24人

子どもの声アンケート調査

杉並第一小学校全児童315名を対象に実施

教職員アンケート調査

杉並第一小学校全教職員を対象に実施

地域の声

杉並第一小学校やC街区等の整備について寄せられました

沿革

明治8年に開校し、今年度、創立149周年を迎えた杉並第一小学校は、長い歴史と伝統を持ち、地域の教育力を組織化した学校支援本部との協働による特色ある教育活動が全国的にも高く評価されている学校です。

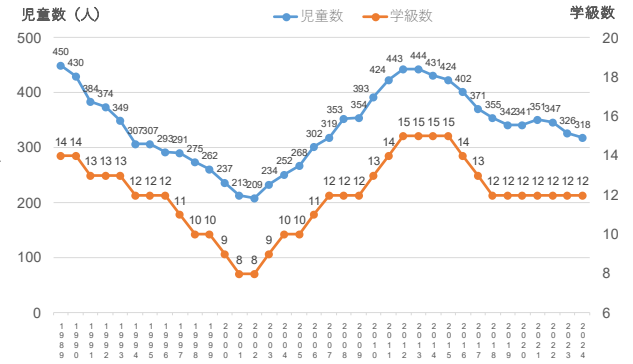
今後、令和11年4月の開校に向け、土地区画整理事業の仮換地指定に沿って、A街区内からC街区内に移転改築工事を行います。

普通教室

児童数・学級数のグラフの推移のとおり、平成元年から現在までの間は、12~15学級で変動しており、また、杉一小推計では、当面は増加傾向が予想されています。

学区には阿佐ヶ谷駅もあり、人口密度が高い地域でもあることから、少子化の流れの中でも児童数が増となる時期があることを想定する必要があります。

このため、過去10年で15学級となったこともあることから、12~15学級での推移を見込み、普通教室は15室を整備するものとします



杉一小推計	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
児童数(人)	327	332	334	339	368
学級数	12	12	12	12	12

みんなで作る 新たなまちづくりの取組



学校関係者や地域の方達の声を広く伺い、段階的に反映させながら改築事業を進めていきます。

今後のスケジュール(予定)

現在の総合病院棟が解体撤去された後、C街区内で杉並第一小学校の建設工事に着工します。

